

2016年 関市の10大ニュース

関市は、2016年の主な出来事の中から上位10件を選び順位付けして「関市の10大ニュース」としました。

選定方法は、各部から選定された市内の主な出来事40件の中から、市の最高幹部会で投票し、得点数の多かった順に上位から10件としました。

中小企業の売り上げアップを全力でサポート！

1位 関市ビジネスサポートセンターSeki-Biz 開設（7月）

市内の中小企業の経営改善や新規創業の相談など、関市の産業支援拠点となる「関市ビジネスサポートセンター」通称、Seki-Biz が7月20日に開設されました。オープン以来、市内外から多くの方が相談に訪れ、地域の企業の活性化につながっています。相談業務を請け負うセンター長、副センター長は全国から応募があった中から選ばれ、悩みを抱える経営者や起業家と一緒に、よきビジネスパートナーとして全力でサポートしています。

関市の新しい「遺産」をご視察いただきました

2位 皇太子同妃殿下、世界かんがい施設遺産「曾代用水 杵之戸分水」をご視察（11月）

11月9日、10日の2日間、岐阜県において開催された「第19回全国農業担い手サミット in ぎふ」へのご臨席と地方事情のご視察のため、皇太子同妃殿下が行啓されました。11月9日には郡上市、美濃市とともに関市にもお越しになられ、世界かんがい施設遺産に指定された「曾代用水」の施設「杵之戸分水（下有知）」をご視察いただきました。道中の沿道では市民らの奉迎も行われ、関市にとっても大変光栄な日となりました。

新たな2つの中学校が誕生しました

3位 板取川中学校と津保川中学校が開校（4月）

過疎化が進み、生徒の減少などに伴って、3月で閉校となった板取中学校と洞戸中学校、武儀中学校と上之保中学校が、新たに統合され4月から「板取川中学校」、「津保川中学校」として開校しました。大勢の関係者が見守るなか、それぞれの中学校で開校式が行われ、新しく作られた校旗が授与され、生徒代表らが気持ちも新たに決意を述べました。

性の多様性を認める取り組みとして

4位 LGBTフレンドリー宣言（8月）

性の多様性を認め、すべての市民がお互いを尊重し合い、誰もが自分らしく暮らせることを目指して、東海地方で初めて、関市が「LGBTフレンドリー宣言」をし、取り組みをはじめました。LGBTフレンドリーとは、LGBTの対象者に開かれた環境、または受け入れる状態にあることを意味する言葉です。

幻の太刀が見つかりました！

5位 関鍛冶の刀祖「元重」の太刀 関鍛冶伝承館で一般公開 （9月）

関鍛冶の始祖といわれ鎌倉時代末期から南北朝時代に活躍したといわれる刀匠「元重」の在銘刀を、関市が購入し関鍛冶伝承館で一般公開を始めました。この太刀「元重作」は長い間その所在が明らかになっていませんでしたが、関鍛冶の調査研究資料としても非常に貴重なものであります。

6位 東海地方初、関商工高校に期日前投票所を設置（7月）

7位 都市計画道路・東山西田原線が一部開通（2月）

8位 関市の若者たちが全国で活躍 少年の主張大会で内閣総理大臣賞・大見夏鈴さん（旭ヶ丘中）、岩手国体弓道少年団で優勝・石原真輝さん（関商工）

9位 子育て世代包括支援センター「ひだまり」開設（10月）

10位 持続可能な循環型都市を目指して「家庭ごみ有料化スタート」（4月）

※秘書広報課から写真を提供しますので、ご連絡ください。